

令和元年度 くまもと・わくわく基金   
冠基金 東京エレクトロン九州・マッチングギフト  
冠基金 公益社団法人 熊本法人会ファンド  
 事業報告

---

団体名：

NPO法人 くまもとオカリナの会

助成事業名：

熊本地震復興支援 「第4回 くまもとオカリナッセ」

# (1)実施内容

- 日時 令和元年9月22日(土)
- 場所 熊本市国際交流会館大ホール
- 参加者 国内外のオカリナ演奏家・愛好者約150名
- ゲスト China Focalink Ensemble 13名  
(中国フォーカリンク・アンサンブル)



## (2)助成金の活用

- くまもとオカリナの会では、熊本地震からの復興を音楽の力で支援するため、平成28年度から県内はもとより福岡、広島、名古屋、神奈川など国内、さらには、中国、韓国などの海外のオカリナ愛好家も参加する県内最大のオカリナイベントを実施している。
- 令和元年は第4回として、国内のトップオカリナ奏者である大沢聡氏の紹介で、中国からプロのオカリナアンサンブルグループ(総勢13名)をゲスト奏者として招聘し、開催した。
- 助成金は、ゲストの旅費・宿泊等の一部に活用した。

### (3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

- 今回の「くまもとオカリナッセ」には、これまで最高となる150名の方が参加した。
- このような演奏会は全国各地で開催されているが、例年、国内のトップ奏者や海外のゲストを招き、幅広い地域からの参加があり、また、大会オリジナルソングの作成など、様々な趣向を凝らして実施する「くまもとオカリナッセ」は、全国のオカリナ演奏者の中で極めて高い評価を得ている。
- 加えて、熊本城に程近い国際交流会館で開催しており、地震から年々復興している力強い熊本の姿をアピールすることができた。
- また、例年、このオカリナッセでは、熊本市ふるさと応援寄付金(エンターテインメントで熊本を元気に！)への寄付を行っているが、寄付額も4年間の累計で約12万円に上る。

## (4)今後の事業展開

- 本年度は9月19日、国際交流会館において、5周年の集大成となる記念大会を計画していたが、コロナウイルス感染症の拡大により開催を断念した。
- 現在のところ、感染症の収束が見通せず不透明なことが多く、今後の事業展開については方向性が定まっていない。
- しかしながら、このような誰もが不要不急の外出自粛生活を余儀なくされている今だからこそ、音楽を楽しむ、音楽で癒される機会を広げることは非常に重要である。
- そこで、YOUTUBEをはじめインターネットの動画サイトなどを活用した演奏映像等の配信するなど、愛好者のみならず、日ごろはあまり音楽と接する機会のない方々などにオカリナの音色を届けることで、ピンチをチャンスに変えて、音楽文化の底上げに貢献していきたいと考えている。